

事業名称		達成状況の評価	
事業名	奥地保安林保全緊急対策事業	A	
整理番号	23-1	目標を完全に達成した。(達成割合100%)	
事業の種類	山腹工事		
市町村名	東筑摩郡 朝日村	配慮した項目	20
箇所名	野俣沢	= 100%	
事業年度	平成23年度～平成28年度	配慮する全項目	20
事業概要			
目的	奥地水源地域の源流部に位置する大規模な崩壊地に対して初期緑化を導入するための治山工事を行うことで、水源かん養や土砂流出防止、そして荒廃地の拡大防止を目的とする。		
事業概要 (延長・幅員・面積・工種など)	森林整備 本数調整伐 46.96ha 山腹工 コンクリート吹付工560㎡ 緑化工3713㎡ 土留工2個 簡易法枠工499㎡ 航空緑化工4.74ha 溪間工 谷止工1個(L=20.7m H=6.0m V=203m3)		
関連する事業計画	特になし		
その他特記事項	特になし		
関係法令等の規制			
自然環境保全地域等の指定状況	なし		
土地利用規制の状況	森林法の保安林等		
その他	なし		
環境要素	配慮の有無	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	○	排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	○	低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	適正に実施
水環境	○	チェーンソーを使用する際は生分解性チェーンオイルを使用する。	適正に実施
	○	水の循環使用等により排出負荷を低減する。	適正に実施
地形・地質	○	地形の変更の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	○	工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。	適正に実施
	○	工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	○	工事により一時的に変化する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実施
	○	法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	適正に実施
	○	工事による地形の変更面積を最小限にする	適正に実施
野生動植物	○	自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	○	水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。	適正に実施
	○	重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
	○	自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	適正に実施
景観	○	周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
文化財等	○	天然記念物(動物)の繁殖期の工事を出来るだけ避ける	適正に実施
廃棄物・建設残土	○	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	○	自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	○	低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	○	点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施